

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	ため池の補強等	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備			補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	かいぜんじ 海善寺  (東御市)	堤体工L=217m 取水施設工2箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=217m  (工期:H22~H24)	測量設計1式	堤体工L=217m 取水施設工1箇所	堤体工L=217m 取水施設工2箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=217m	必要性 A	16.0%	計画どおり進んでいる。 詳細設計が完了し、本体を実施する。	堤体からの漏水及び堤体の脆弱化が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。 H23年度より堤体工等に着手し、事業進捗を図る。	必要性が認められる。	「継続」
		5000万円	800万円	3000万円	4200万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.33				
						緊急性 B	住民参加状況等 各種調整等に積極的に関与しており、施設の維持管理は地元区が実施している。				
2	たて うみ 蓼の海  (諏訪市)	堤体工L=190m 取水施設工1箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=190m  (工期:H21~H24)	堤体工L=(190)m 取水施設工(1)式 余水吐工1式	堤体工L=190m 取水施設工1式 波除護岸工L=(190)m	堤体工L=190m 取水施設工1式 波除護岸工L=190m	必要性 A	85.0%	計画どおり進んでいる。 余水吐が完了し、堤体(堤頂部)・取水施設・波除護岸の一部を実施する。	堤体及び余水吐付近からの漏水が著しい。また下流域に民家・公共施設があることから早急な改修が必要である。 H22年度に引き続き堤体工等を実施し、事業進捗を図る。	必要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
		1億4120万円	7000万円	1500万円	2120万円	重要性 B	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=19.06				
						緊急性 A	住民参加状況等 各種調整等に積極的に関与し、施設の維持管理は地元区が実施している。				
3	すくひたいら 須栗平  (茅野市)	堤体工L=140m 取水施設工1箇所 余水吐工1箇所 波除護岸工L=140m  (工期:H21~H23)	堤体工L=(140)m 取水施設工1式 余水吐工1式	堤体工L=140m 波除護岸工L=140m	堤体工L=140m 波除護岸工L=140m	必要性 A	75.3%	計画どおり進んでいる。 取水施設・余水吐が完了し、堤体(堤頂部)・波除護岸を実施する。	堤体からの漏水及び堤体の脆弱化が著しい。また直下に集落があることから早急な改修が必要である。 前年度に引き続き堤体工等を実施し、H23年度完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		1億1090万円	3500万円	2740万円	2740万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=7.32				
						緊急性 B	住民参加状況等 ため池改修検討委員会を設立し、各種調整等に積極的に関与しており、施設の維持管理は地元区が実施している。				
4	ほんごう 本郷  (飯島町)	堤体工L=230m 余水吐工1箇所 波除護岸工L=230m 防護柵工L=290m  (工期:H21~H23)	堤体工L=230m 余水吐工1箇所 波除護岸工L=230m	防護柵工L=290m	防護柵工L=290m	必要性 A	87.8%	計画どおり進んでいる。 計画のほとんどが完了し、防護柵を実施する。	堤体の浸食が進行し脆弱化が著しい。また直下に集落や重要施設があることから早急な改修が必要である。 前年度に引き続き、残る防護柵工を実施し、H23年度完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」
		6550万円	5500万円	800万円	800万円	重要性 A	特記事項 特になし。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.28				
						緊急性 B	住民参加状況等 地元組織の「耕地」を中心に、各種調整等に積極的に関与しており、施設の維持管理は地元区が実施している。				
合計	4箇所	3億6760万円	1億6800万円	8040万円	9860万円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表(継続)(要領第5の2(1)関係)

分野		ため池の補強等				事業番号、事業名		3 県営ため池等整備(用排水施設整備)				補助・単独別		補助		農政部 農地整備課	
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針						
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況									
1	やえはら 八重原  (東御市)	用水路工L=2820m 放水路工2箇所 (190m)  (工期:H19~H23)	用水路工L=500m	用水路工L=953m	用水路工L=953m	必要性 A	79.3%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約66%(L=1867m)が完了し、未着手区間も計画的に実施する。	水路沿線の農地、人家等の浸水被害が頻発しており、早期改修が必要である。 前年度に引き続き用水路工を実施し、H23年度完了を図る。	平成23年度での完了を図る。	「継続」						
		重要性 A				特記事項 特になし。											
		効率性 A										B/C(費用対効果)=1.07					
		緊急性 B											住民参加状況等 地域住民や土地改良区からの要望や意見を反映させた設計等を進めており、維持管理は土地改良区が実施している。				
1億3240万円	2000万円	2740万円	2740万円														
2	あまがわらせぎ 大河原堰  (茅野市)	用水路工L=1432m  (工期:H19~H24)	用水路工L=136m	用水路工L=140m	用水路工L=480m	必要性 A	80.8%	計画区間の約66%(L=952m)が完了し、未着手区間も計画的に実施する。	水路破損により周辺施設へ与える被害が大きく、必要性が高い。 H22年度から引き続き用水路工を実施し、事業進捗を図る。	必要性、重要性が高い。	「継続」						
		重要性 A				特記事項 特になし。											
		効率性 A										B/C(費用対効果)=1.18					
		緊急性 B											住民参加状況等 地域住民や土地改良区から要望や意見を反映させた設計等を進めており、営農期は「堤総代」が毎日見廻りを行っている。				
2億2280万円	2000万円	2300万円	4280万円														
3	みわ 美和  (伊那市)	用水路工L=435m  (工期:H20~H24)	用水路工L=65m	用水路工L=(347)m	用水路工L=347m	必要性 A	33.3%	計画どおり進んでいる。 H22年度より水路トンネル工を実施しており、順調な進捗が図られている。	水路トンネル内で崩落が発生しており、早期改修が必要である。 H22年度から引き続き用水路工を実施し、事業進捗を図る。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」						
		重要性 A				特記事項 特になし。											
		効率性 A										B/C(費用対効果)=1.19					
		緊急性 A											住民参加状況等 地域住民や土地改良区から要望や意見を反映させた設計等を進めており、維持管理は土地改良区が実施している。				
3億4500万円	6500万円	1億5000万円	2億3000万円														
4	ながのき 長野3期  (長野市)	[3期分] 排水路工L=735m (工期:H19~H24) 【全体】 排水路工L=6805m 排水機場 1箇所 堤外水路L=250m (工期:H4~H24)	排水路工L=253m	排水路工L=270m	排水路工L=366m	必要性 A	74.6%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約80%(L=573m)が完了し、未着手区間も計画的に実施する。	市街化が進み、流出変化により浸水被害が生じている。 H22年度から引き続き排水路工を実施し、事業進捗を図る。	予定工期内での完了を図る。	「継続」						
		重要性 B				特記事項 H23変更 地盤改良工L=96m増、事業費3億3210万円増、工期1年増 軟弱地盤改良のため増工											
		効率性 A										B/C(費用対効果)=1.25					
		緊急性 A											住民参加状況等 工事用地の借地交渉等に地域の住民が積極的に関与しており、維持管理は土地改良区が実施している。				
18億220万円	5億1000万円	2億5000万円	4億5710万円														

分野	ため池の補強等	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(用排水施設整備)			補助・単独別	補助	農政部 農地整備課				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
5	あきりき 安浅里2期  (長野市)	【2期分】 用水路工L=214m (工期:H20～H24) 【全体】 用水路工L=1279m (工期:H15～H24)	用水路工L=100m	用水路工L=114m	用水路工L=114m	必要性 A	59.0%	計画どおり進んでいる。 水路トンネル内の基礎地盤改良が完了し、トンネル本体工事を実施する。	漏水により泥岩が膨張し隧道内部が変形している。また、硫化水素等の影響を受けコンクリートの剥離が著しく改修の必要性が高い。 H22年度から引き続き用水路工を実施し、事業進捗を図る。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 B						B/C(費用対効果)=1.13
						緊急性 A						住民参加状況等 特になし。
6	はにしなき 埴科5期  (千曲市)	【5期分】 排水路工L=265m 排水機場1箇所 (工期:H20～H24) 【全体】 排水路工L=4525m 排水機場1箇所 (工期:H6～H24)	排水路工L=70m 排水機場(1)箇所 (建屋1棟・ポンプ製作2基)	排水路工L=50m 排水機場(1)箇所 (ポンプ据付2基・樋門1基)	排水路工L=117m 排水機場1箇所	必要性 A	68.1%	計画どおり進んでいる。 計画区間の約56%(L=148m)が完了し、未着手区間と排水機場関係も計画的に実施する。	近年の異常気象により湛水被害が生じている。H22年度から引き続き排水機場の建設及び排水路工を実施し、事業進捗を図る。	重要性、緊急性が高く、必要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし。					
						効率性 B						B/C(費用対効果)=1.03
						緊急性 A						住民参加状況等 水路整備には地元小学生が参加するなど、地域住民の積極的な関与があり、維持管理は土地改良区が実施している。
合計	6箇所	38億5140万円	9億6970万円	8億7040万円	12億4660万円		A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満					

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	ため池の補強等(水路等の補強)	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(土地改良施設耐震対策)			補助・単独別	補助	農政部 農地整備課			
番号	箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
1	竜西  (1期)  (飯田市、松川町、高森町)	【1期分】 水路橋耐震補強工 (1箇所) L=65m サイフォン耐震補強工 (2箇所) L=2,269m  【工期:H21~H25】	サイフォン耐震補強工 L=804m	サイフォン耐震補強工 L=536m	水路橋耐震補強工 L=65m サイフォン耐震補強工 L=1,465m	必要性	32.5%	計画どおり進んでいる。 H23年度も引き続きサイフォン耐震補強工を実施する。	東海地震の防災対策強化地域に指定されているため、大規模地震発生に備え早急に耐震補強を行う必要がある。 ここ数年は毎年のように小規模な破管が頻発しており緊急性が高まっているため、事業進捗を図る必要がある。	必要性、重要性、緊急性が高い。	「継続」
		重要性				特記事項 特になし					
		効率性				A	B/C(費用対効果)=3.26				
		緊急性				A	住民参加状況等 一部住民参加している草刈りを他集落へも呼びかけ中である。				
合計	1箇所	10億1600万円	3億円	2億7200万円	6億8600万円						

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	ため池の補強等(水路等の補強)	事業番号、事業名	3 県営ため池等整備(特定農業用管水路等特別対策)				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況				
1	みまきはら 御牧原	管水路工L=3,804m (工期:H20~H25)	管水路工L=158m	管水路工L=800m	管水路工L=1489m	必要性 A	60.0%	H23年度も引き続き管水路工を実施する。	既存施設はアスベストを含有する石綿管であり、近年は老朽化による破管が発生しているため、引き続き管水路工を実施し早急に更新する必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 H22計画変更(新たに石綿管の破管が発生した区間の取り込み) 事業量:管水路工L=1,164m増 事業費:3000万円増 工期:2ヶ年延長
	効率性 B	B/C(費用対効果)=1.06										
	緊急性 A		住民参加状況等 関係区民代表者で実行委員会が組織されており、維持管理は関係区民・受益者で実施している。									
	(東御市)	1億5000万円	2000万円	3000万円	6000万円							
2	おのやま 尾野山	管水路工L=1,670m B/C(費用対効果)=1.02 (工期:H21~H24)	管水路工L=1,154m	管水路工L=300m	管水路工L=446m	必要性 A	62.5%	計画どおり進んでいる。 H23年度も引き続き管水路工の進捗を図る。	老朽化により石綿管の破損事故が発生しているため、施設の更新整備を行い、撤去管の適切な処理を図る。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A						特記事項 線形の見直しにより、事業量、事業費の縮減を図る。 事業量:管水路工L=187m減 事業費:2000万円減
	効率性 B	B/C(費用対効果)=1.01										
	緊急性 A		住民参加状況等 地元自治会(田持会)が中心となり維持管理を実施している。									
	(上田市)	8000万円	4000万円	2000万円	3000万円							
合計	2箇所	2億3000万円	6000万円	5000万円	9000万円							

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	ため池の補強等(水路等の補強等)	事業番号、事業名	3 ため池等整備(農村災害対策整備)				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課		
番号	ふりがな 箇所名 [市町村名]	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況				
1	こうみほら 小海原	用水路工L=3,430m 土留工L=90m 管理道路工L=700m 〔工期:H20~H24〕	取水工 N=1箇所	用水路工L=1,500m	用水路工L=2,242m 土留工L=70m	必要性 A	49.6%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約3割と取水工改修が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。	幹線配水管が損傷し、 通水不能となっており、 応急的に千曲川から用水を汲み上げて対応しているため、早急な改修が必要であり、引き続き用水路工を実施する。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.15						
					緊急性 A	住民参加状況等 小海原水利耕作組合が中心となり施設の維持管理を実施している。						
	[小海町]	2億6200万円	5000万円	6000万円	1億3200万円							
2	ふじわらだ 藤原田	用水路工L=2,269m 土留工 N=3箇所 〔工期:H22~H26〕	用水路工L=150m	用水路工L=800m	用水路工L=2,119m 土留工N=3箇所	必要性 B	19.0%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約1割が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。	農地の上段を流れる農業用水路で溢水被害が頻発しており、緊急性が高いため、引き続き用水路工を実施する。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.21						
					緊急性 A	住民参加状況等 立科土地改良区、藤原田区が中心となり施設の維持管理を実施している。						
	[立科町・上田市・東御市]	1億5800万円	3000万円	5000万円	1億2800万円							
3	ななくぼかたのり 七久保片桐	ため池工 3か所 用水路工 L=1,319m 土留工L=392m 〔工期:H13~H23〕	用水路工(水路トンネル)L=100m	用水路工(水路トンネル)L=80m	用水路工(水路トンネル)L=80m	必要性 A	89.9%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約9割が完了し、H23も引き続き用水路工(水路トンネル工)を実施する。	ため池堤体の浸食、水路の老朽化による土砂崩落があり、総合農地防災事業としての必要性が高いため、引き続き用水路工を実施し、平成23年度の完了を目指す。	平成23年度での完了を図る。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 H19変更 ため池1箇所増、水路工工法変更 4千万円減 H22変更 水路工(水路トンネル)L=180m増 1億9千万円増 工期2年延長 改修路線である山腹水路の区間内において、新たに水路トンネルの崩落が発生したため、施工延長を伸ばす。					
					効率性 B	B/C(費用対効果)=1.05						
					緊急性 A	住民参加状況等 七久保片桐水利組合を中心に地域住民も一体となり維持管理を実施している。						
	[飯島町・中川村]	7億4940万円	1億2000万円	7540万円	7540万円							
4	おんだいすい 恩田井水	用水路工 L=1,218m 農地保全工N=5箇所 管理道路工 一式 〔工期:H21~H26〕	用水路工 L=153m 管理道 付帯工一式	用水路工 L=250m	用水路工 L=1,065m 農地保全工N=5箇所 管理道路工 一式	必要性 A	24.6%	計画どおり進んでいる。 用水路工(隧道)の工事に着手し、引き続き用水路工を実施する。	地域唯一の農業用水源である隧道で崩落が発生しており、重要性、緊急性が高いため、引き続き用水路工を実施する。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						重要性 A	特記事項 特になし					
					効率性 A	B/C(費用対効果)=1.61						
					緊急性 A	住民参加状況等 恩田井水水利組合を中心に地域住民も一体となり維持管理を実施している。						
	[阿智村]	8億4200万円	1億8200万円	2億円	6億3500万円							

分野	ため池の補強等(水路等の補強等)	事業番号、事業名	3 ため池等整備(農村災害対策整備)			補助・単独別		補助		農政部 農地整備課					
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況							
5	みたけ 三岳  〔木曾町〕	ため池工 N=1箇所 水路工 L=1,070m 土留工 N=1箇所  〔工期:H22~H26〕	測量設計 一式 水路工 L=102m	水路工 L=290m	ため池工 N=1箇所 水路工 L=1,070m 土留工 N=1箇所	必要性 A	6.7%	計画どおり進んでいる。 23年度は緊急性の高い、水路工を実施していく。	山腹水路や県道を横断するサイフォンで、溢水や漏水等の被害が多発しているほか、ため池にも漏水や堤体の変形が見られるなど、農地や人家、県道に被害を及ぼす危険性が高いことから、早急に改修が必要である。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」				
						重要性 A						特記事項 特になし			
						効率性 A						B/C(費用対効果)=1.13			
			1億4900万円	3000万円	2000万円	1億3900万円						緊急性 A	住民参加状況等 水利組合・地元住民による補修・維持管理を実施している。		
6	おたりなんぶ 小谷南部  〔小谷村〕	用水路工 L=4,310m 土留工 L=70m  〔工期:H20~H24〕	用水路工 L=340m 土留工 L=20m	用水路工 L=140m	用水路工 L=286m 土留工 L=50m	必要性 A	51.4%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約9割が完了し、引き続き改修を実施する。	山腹水路が土砂崩落等によって破損した場合、下流の農地や生活道路等へ被害を及ぼす恐れがあるため、引き続き早急な改修を実施する。	必要性が高く、重要性、緊急性も認められる。  残事業費要精査。	「継続」  H22年度の実施状況を踏まえ、今年度に事業費の精査を行う。				
						重要性 A						特記事項 特になし			
						効率性 A						B/C(費用対効果)=1.98			
			2億800万円	1500万円	500万円	1億100万円						緊急性 A	住民参加状況等 土谷堰水利組合を中心に地域全体で維持管理を実施している。		
7	いちくらたわ 一倉田和2期  〔長野市〕	[2期分] 用排水路工L=1,695m 土留工L=840m 横孔ホ-リング工L=900m  〔工期:H19~H24〕	用水路工L=117m 土留工L=120m	用水路工L=100m 土留工L=310m	用水路工L=100m 土留工L=660m 横孔ホ-リング工L=900m	必要性 B	42.8%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約9割が完了し、引き続き用水路工及び農地保全工を実施する。	急峻な地形を流れる山腹水路であり、土砂崩落による溢水被害が発生しているため改修の必要性が高いため、引き続き用水路工等を実施する。	緊急性が認められる。  残事業費要精査。	「継続」  H22年度の実施状況を踏まえ、今年度に事業費の精査を行う。				
		[全体] 用排水路工L=4,649m 土留工L=870m 横孔ホ-リング工L=900m  〔工期:H14~H24〕												重要性 B	特記事項 特になし
														効率性 A	B/C(費用対効果)=1.77
						2億1730万円						2000万円	2000万円	1億2430万円	緊急性 A
8	ひばら 日原  〔長野市〕	排水機場N=3箇所 ため池N=1箇所 用水路工L=600m 土留工L=110m 排水路工L=15m  〔工期:H21~H26〕	排水機場N=1箇所 土留工L=70m	排水機場N=1箇所 用水路工L=550m	排水機場N=2箇所 用水路工L=600m	必要性 A	30.2%	計画どおり進んでいる。 危険性の高いため池の改修が完了し、引き続き排水機場や用水路工を実施する。	ため池堤体からの漏水や厩川沿いで湛水被害が発生するなど、緊急性が高いため、引き続き排水施設の整備を実施する。	緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	「継続」				
						重要性 A						特記事項 特になし			
						効率性 A						B/C(費用対効果)=1.32			
			4億3000万円	1億円	7000万円	3億円						緊急性 A	住民参加状況等 橋木水利組合を中心に地域住民も一体となり維持管理を実施している。		

分野	ため池の補強等(水路等の補強等)	事業番号、事業名	3 ため池等整備(農村災害対策整備)				補助・単独別		補助	農政部 農地整備課				
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針			
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況						
9	ひがしかわ 東黒川  (飯綱町)	ため池 1箇所 排水施設整備 L=573m  (工期:H22~H26)	測量設計1式	ため池 1箇所	ため池 1箇所 排水施設整備 L=573m	必要性 A	10.0%	計画どおり進んでいる。 測量設計の完了した危険性の高いため池 の改修に着手する。	ため池堤体からの漏水 が発生するなど、緊急性 が高い。	必要性、緊急性が認め られる。	「継続」			
		1億5000万円		1500万円	6000万円	1億3500万円						重要性 B	特記事項 特になし。	
												効率性 A		B/C(費用対効果)=1.29
												緊急性 A		
10	あかやま 岡山  (飯山市)	ため池 2箇所 用排水施設整備 L=2,250m  (工期:H22~H26)	測量設計1式 用排水施設整備 L=490m	用排水施設整備 L=1,000m	ため池 2箇所 用排水施設整備 L=1,760m	必要性 A	7.9%	計画どおり進んでいる。 測量設計の完了した危険性の高い用排水 施設の整備を実施する。	水路からの溢水や土砂 崩落が毎年発生しており、 このまま変状が拡大 すれば、人家や農地・県 道への土砂崩落といった 災害へとつながる危険性 が高い。	必要性が高く、重要性、 緊急性も認められる。	「継続」			
		3億8000万円		5000万円	6000万円	3億3000万円						重要性 A	特記事項 特になし。	
												効率性 A		B/C(費用対効果)=2.07
												緊急性 A		
11	したぎぎ 下堰  (木島平村)	用水路工 L=1,155m 土留工N=1箇所  (工期:H21~H24)	用水路工 L=293m	用水路工 L=334m 土留工N=1箇所	用水路工 L=627m 土留工N=1箇所	必要性 B	49.0%	計画どおり進んでいる。 用水路工改修の約5割が完了し、引き続き用 水路工及び農地保全工を実施する。	山腹水路で土砂崩落等 が発生しており、緊急性 が高いため、引き続き用 水路工を実施する。	重要性、緊急性が認めら れる。	「継続」			
		1億200万円		3000万円	3000万円	5200万円						重要性 A	特記事項 特になし	
												効率性 A		B/C(費用対効果)=2.96
												緊急性 A		
合計	11箇所	36億4770万円	6億4200万円	6億5040万円	21億5170万円									